

ホームページ作成備忘録 No4 レイアウトテーブルを考える

ホームページ作成で大切な事は、[Web デザイン]です。画像、ロゴをはじめコンテンツ全般を含めて、見ていただく方の立場に立った[ユーザービリティ][アクセシビリティ]を基本に考える事が必要です。その中では当然[レイアウト]も重要な要素の一つです。

[レイアウト]には、テーブル(表)を使ったレイアウトや、CSS(スタイルシート)を使ったものなどがありますが、HP クラブでは、テーブルによるレイアウト即ち[レイアウトテーブル]を基本としています。

テーブルレイアウトとは?

テーブルレイアウトとは、[表組みのデータを表すための要素を使用してレイアウトを行うこと、又その手法を用いて制作された Web ページのこと]とされています。

1. テーブルレイアウトの[メリット]と[デメリット]

最近 CSS の普及のテンポが早く、ともすればテーブルレイアウトが軽視される傾向にありますが、テーブルレイアウトには、メリットばかりではなくデメリットの両面が有ることも事実です。

● テーブルレイアウトのメリット

- ・ 画像などの配置などを行いやすい。
- ・ 均一性のあるレイアウトを作る事が出来る。
- ・ 見る方の違いなどブラウザによる影響を考える必要がない。
- ・ ビジュアルに編集出来るので安心して作業が出来る。

● テーブルレイアウトのデメリット

- ・ 構造が複雑になると HTML の容量が大きくなる。
- ・ 構造が複雑になると表示に時間がかかる。

★ テーブルレイアウトを使う場合は、これらの事を考えながら、デメリットを最小限に押さえる様な工夫が必要となります。

2. テーブルの利用例

テーブルは[表]です。このイメージから先ず考えられるのは、単純な表でレシピ、時刻表等ですが、この他にもレイアウトとしての利用、デコレーション素材など様々な用途として利用されています。これらの中でも[レイアウト]として使うケースが多く見られます。

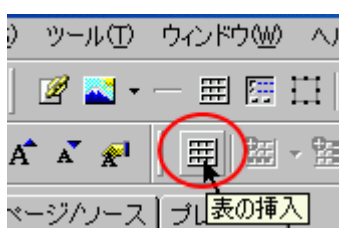
[レイアウトテーブル]の基本となるのは[テーブル]です。[テーブル]には、結合、分割などの手法でかなり手の込んだレイアウトが作成出来ますが、先ず基本を身につける事が大切で後はこの応用の問題です。

最初に[表]の基本的作成について復習を兼ねて学習します。

(テーブルの作成を既に習得されている方は復習としてお読みください)

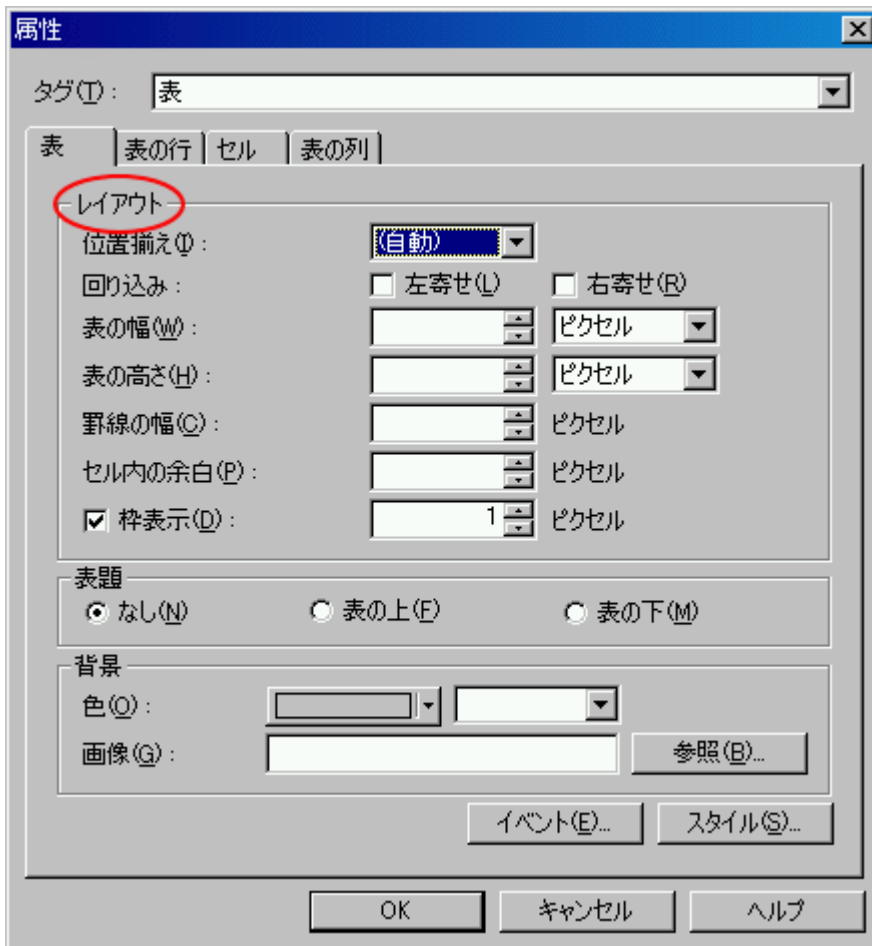
3. テーブルの作成

テーブル(表)を作成するには、いくつか方法がありますが、ツールバーにある[表の挿入]アイコンをクリックするのが一番効率的な方法です。



ツールバーには、数個の[表の挿入]アイコンがありますが、どれを使っても同じです。アイコンをクリックすると[表の挿入]画面が表示されるので、必要な[行数][列数]を選択します。

★ 表を選択して[属性の変更]を行います。画面右サイドの[属性]からも操作出来ますが[Alt キー+Enter キー]をクリックしても[属性]画面が表示されます。





★ [位置揃え][表の幅][表の高さ]などを設定します。




★ 表に関するアイコンです。最初はまごつきますが慣れると便利です。覚えるよりも慣れることが大事です。(アイコンにマウスを乗せると説明があります)。

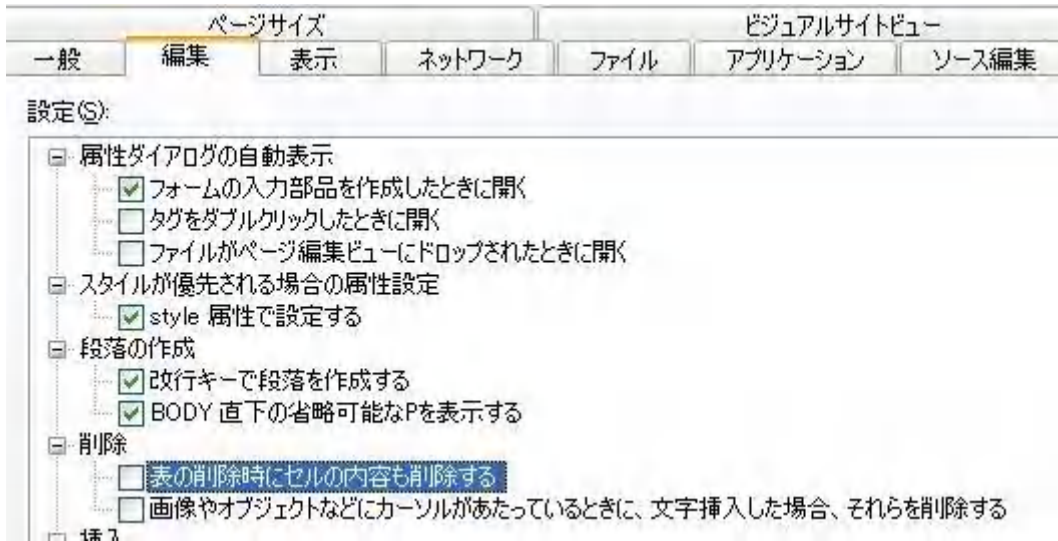
4 [表の操作] 表・行・列の挿入・削除の方法




- ①  [上へ1行追加][下へ1行追加]。
- ②  [左へ1列追加][右へ1列追加]。



☆数行又は数列の追加の場合は、①②いずれかの▼を押して[指定して追加]を選択し、追加数を記入します。

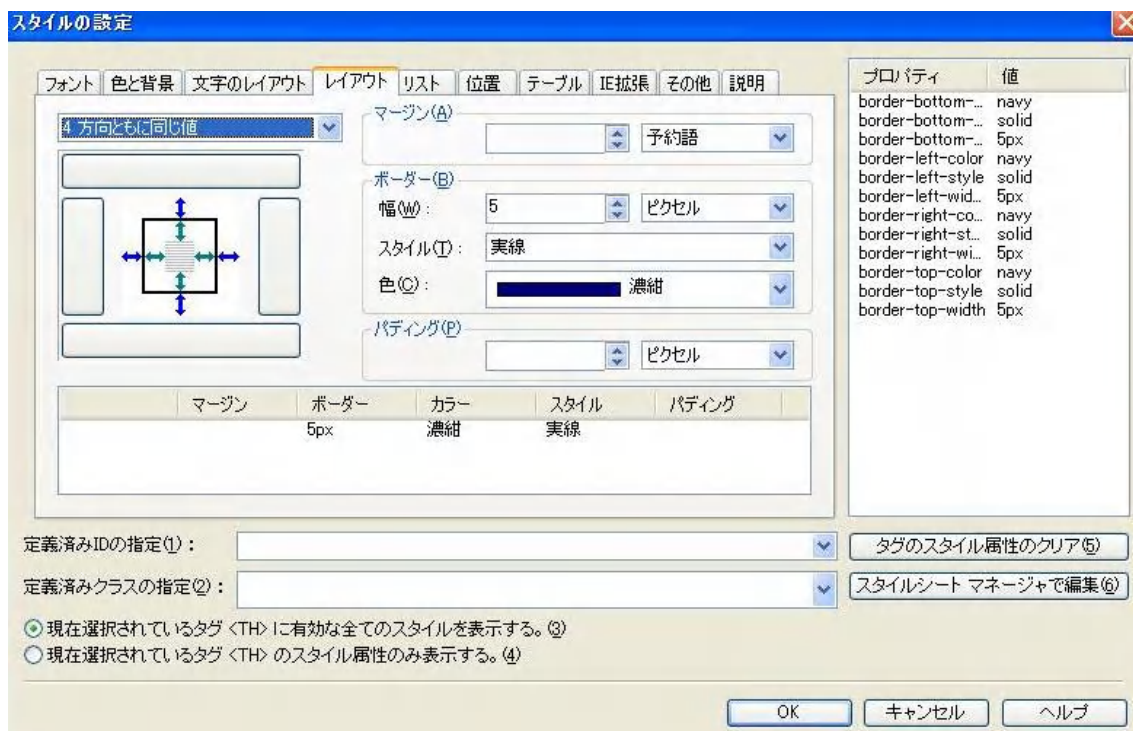
- ③  表を削除するアイコンです。
- ④ データーを残したまま、表・行・列を削除する時には先ず次の操作をします[ツール]→[オプション]→[編集]→[削除]→チェックを外す。



- ⑤    [セル]を結合するアイコンです。

- ⑥   [セル]を分割するアイコンです。

5. 表の枠に色を付けるには[スタイルシート]を使います。



- ① 該当する表を右クリックして[スタイルの設定]を選択すると、上図が表示されます。
- ② [レイアウト]から[ボーダー]を選択して操作します。

☆ 留意点

ブラウザによって線の表示が異なります。どのブラウザでも同じに表示されるのは、

[solid 実線]と[double 二重線]です。実線がお薦めです。

6. 表の基本的[タグ]

表は[罫線]と、[内容]で構成されています。表は下の三種類のタグから構成されています。

[表を作る]タグ <TABLE>~</TABLE>

[行を作る]タグ <TR>~</TR> TRはTable Row(行の意味)

[区切りを作る]タグ <TD>~</TD> TDはTable Data(データの意味)

(註) ホームページビルダーでの表の作成にはタグの書き込みは必要ありません。

★ 表の[罫線]を表示しない場合は、<border>を書き込まない。

表の外枠の太さを指定するには[border]を使います。

表示は<table border= “●●” ></table>で、●●には数字をいれます。数字を入れない場合はピクセル[1]で表示されます。表示しない場合は[0]と書き込みます。

外枠の色は通常上と下で色が違います。(上・左)<bordercolorlight>(下・右)<bordercolordark> を使います。

■ レイアウトテーブル

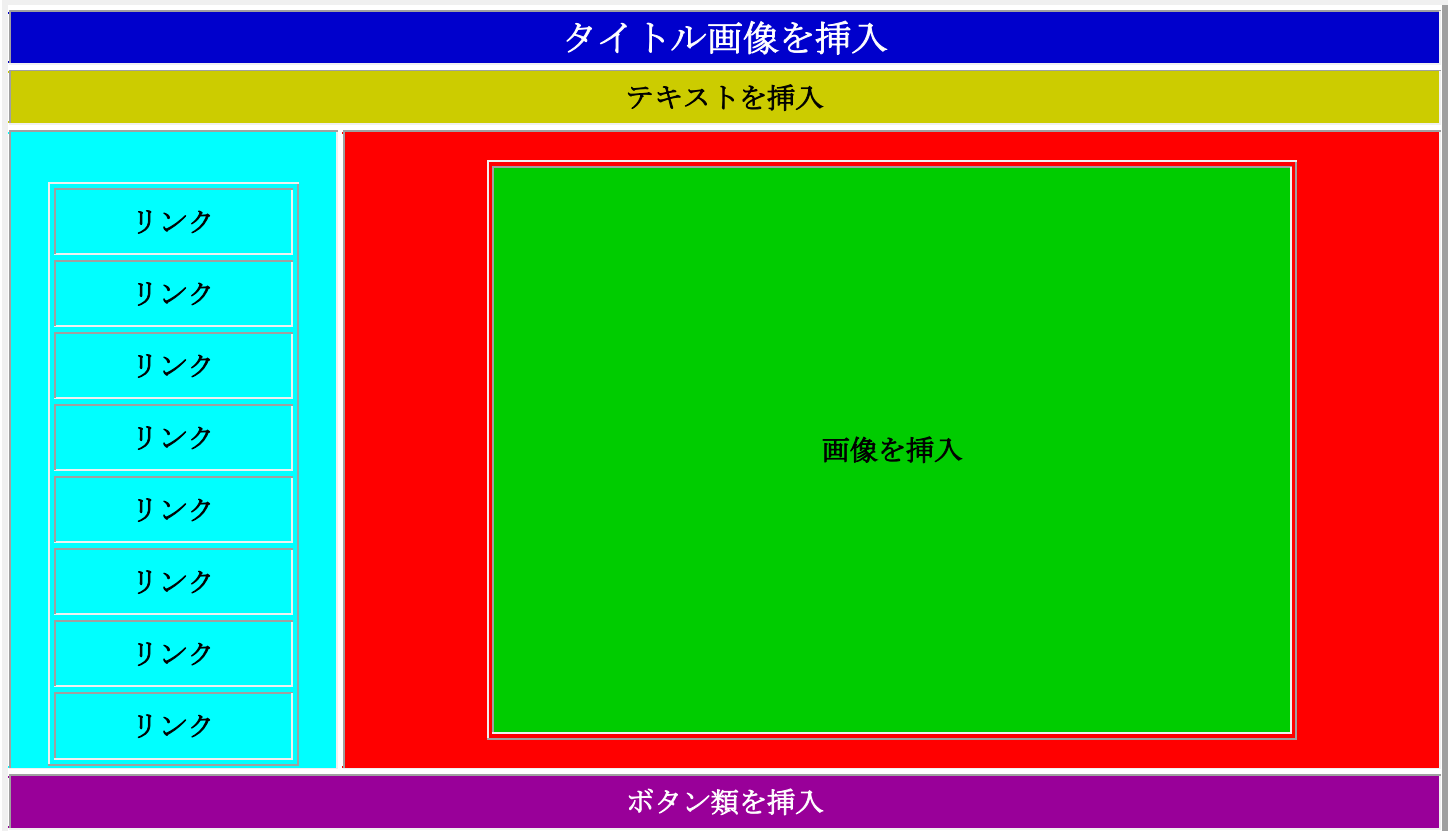
[レイアウトテーブル]を作るには、先ず全体のレイアウトを考え、大まかなデッサンを描き、構想が決まった段階で実際の作図を行う事が大切です。先ず決めるのは[表]の大きさです。ページを構成するコンテンツ(画像・説明文等)によって表の幅(width)を考えます。レイアウトテーブルを作る際の留意点としては、アクセスを速くする事を考える必要があります。軽いページを考えると、大きな表の中にすべてを書き込むと大変表示までに時間がかかります。いくつかの表に分けて(たとえば表1 表2)作図する工夫も必要です。出来るだけ[表1]の部分は軽くする工夫が必要です。又、不必要な表は[結合]等で出来るだけ表の分割を避ける事も必要となります。

基本的なフォーマットとしては、メニュー枠(リンク枠)を横に置くか、縦に置くかによってテーブルの構成を考えます。下のサンプルは、表1に[タイトル画像又はロゴ]、表2に[リンク]、表3に[画像、テキスト]、表4に[ボタン類]などを想定したものです。作図の中で考えていただきたいのは[リンク]枠です。最初は数少ない項目も段々増えて行きます。横枠に設定しておくこの場合[表の追加]でいくらかでも増やすことが可能となりますので、このあたりも検討課題の一つです。これは基本形の一つですので、後はコンテンツによって表の[追加・分割]などの操作で細かなレイアウトを考えてください。以下トップページのレイアウトのケースです。

サンプル1 [リンク]枠を横に配置するケース



サンプル2 [リンク]枠を縦に配置するケース



上図サンプル2は、[リンク]枠を縦置きにしたレイアウトです。タイトル画像挿入[表1]、テキスト挿入[表2]、リンク・画像挿入[表3]、ボタン類挿入[表4]とした基本形です。表3は2分割して、リンクと画像は[入れ子]として設定してあります。このケースでは、リンクの扱いに工夫が必要です。ファイル毎ではなく[ジャンル]毎の

リンク設定にするなどセルの数を抑える事が必要となります。

☆ 基本となるパターンを説明しましたが、トップページとそれにリンクするページとでは自ずからレイアウトの形は異なりますが、出来れば[テーブル]の大きさは、全ページ統一することが見栄えの点からもベターだと思います。

☆ 前にも説明しましたが、いきなり作図するのではなく、[メモ紙]などに色々なレイアウトのラフデッサンを描き、構想を決めてから作業に入りましょう。

■ レイアウトテーブル作成の留意点

1. 必ずレイアウトのデッサンを行い、確定した段階で作業に入る(具体的な計画が重要です)なるべく分割、追加などの作業を行わない様にします。
2. 軽いページ(特にトップページ)を作ることを心がける、そのためには、大きなテーブルの中に詰め込まないで、有る程度表を分割して作成します。
3. 一番上に配置する[タイトル画像]等は極力軽いものを使用します。
4. テーブルを効率的に使います(空白のセルは結合などで消去する)。